

PDCAチェックシート

実施年度	令和元年度		担当課名	建設課
事務事業名	老朽危険空き家除却支援事業			
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
<p>■目的</p> <p>老朽化して倒壊などのおそれのある空き家の除却を促進し、地域の住環境の向上を図るため、市内に存する空き家の除却を行う者に対し、補助金を交付する。</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】 補助金交付 10件</p> <p>【達成値(R1実績値)】 補助金交付 6件</p>	<p>■具体的取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信 ・香川県とも協力した広報・セミナー開催等の啓発活動 ・近隣から苦情の出た空き家所有者への指導としての支援事業の案内 <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>事業費等</p> <p>令和元年度 老朽危険空き家除却支援事業当初予算 16,000千円(補助上限額10件分)</p> <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>実施回数等</p> <p>セミナー開催 2回 参加者のうち、東かがわ市内に空き家を所有する人 7名 空き家所有者への指導支援 0件</p> <p>交付決定 6件 補助対象外相談件数 30件</p>	<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は目標値に対し大きく届かなかった。 原因は、周知・啓発が足りず、空き家の所有者が、発生している問題またはこれから発生するであろう問題について、当事者意識としての認識が足りていないことであると考えられる。 台風の接近が例年より少なかったことで、そのような意識を持つ機会が少なかったことや、被害が少なかったことから、補助制度の対象要件を満たす空き家が生じなかったことも考えられ、空き家所有者の当事者意識の醸成を自然現象に依存していることも原因と考えられる。 ・また、香川県と協力した周知・啓発も行ったが、市内でのセミナー等開催には至らず、東かがわ市内に空き家を所有する方の参加は7名という結果になった。 	<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題への周知・啓発の不足が目標値の達成に届かなかった要因にあるため、従来以上にその方面にも注力する。例えば新型コロナウイルス感染症拡大防止も兼ねて、従来は高松市等でのみ行っていた香川県主催の空き家セミナーにサテライト会場を提供することで、市外のセミナーには参加できなかった空き家所有者・管理人の参加を狙う。 	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。